

平成27年度 施策評価表

作成年月日：平28年9月2日	課・グループ名	生涯学習課社会教育グループ
----------------	---------	---------------

③青少年の健全育成 3-3-③			
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	3. 地域に根ざした教育と文化の高いまちづくり	(3) 豊かな心を育てる社会教育の推進	③青少年の健全育成
①施策のねらいと展開方向	●地域の大人や生涯学習サポーターなどの協力の下に、家庭・学校・地域との連携を深め、社会体験や生活体験など、情操豊かな子どもたちを育むための体験活動を広げる子どもの居場所づくりを推進します。 ●各種団体との連携を深め、組織や事業内容の見直しを図るとともに、子ども達の健全育成活動への支援に努めます。		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	●地域の大人や異年齢の子ども同士の交流などの機会が減少し、社会性が身につけていない子どもが増加している傾向にあります。 ●子ども達が、豊かな感性や協調性など、社会において生きる力を身に付けるため、地域において様々な体験学習や交流活動が求められています。	●家庭・学校・地域が相互に連携を図り、社会体験や生活体験、自然体験、異年齢の交流など、子どもたちが安全、安心して活動できる場を充実させる必要があります。 ●少子化による会員の減少や地域ごとの会員数、活動状況の格差が生じるなどの現状から子ども会（育成会）組織や事業内容を見直す必要があります。	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況									
① 成果指標	設定の意図			まちづくりの成果指標名			数値化		
	・ Aについては、少子化の影響により会員数及び地域子ども会数が減少している中で、前年度との比較が可能なものとするため、子ども会実施事業の参加割合を指標として設定している。 ・ Bについては、多くの子どもたちの放課後における安全で安心な居場所づくりと、様々な体験活動を地域と一体となって進めていくため、登録者数を増やす取り組みが必要であるため。			成果指標 (総合計画・施策評価)		○	可能		
				A 子ども会実施事業の参加割合			不可能		
				B 放課後子ども教室登録者率			未計測		
				代替指標 ※成果指標がない場合			指標の設定		
						可能			
							不可能		
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。									
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由		
		H24	H25	H26	H27	H28			
A 目標	%	120.0	150.0	170.0	185.0	200	会員数は減少しているが、継続して事業に参加している会員が多いため、達成率が増加した。		
A 実績	%	146.0	177.0	188.0	212.0				
A 達成率	%	121.6	118.0	110.6	114.6%				
B 目標	%	30.0	31.0	33.0	33	35	生涯学習サポーターや各団体・サークルの協力のもと活動内容の充実を図ったが、児童や保護者に浸透しなかったことや、児童クラブの会員数が減少したことなどにより、登録者数が減少した。		
B 実績	%	31	34	38	30				
B 達成率	%	103.3	109.6	122.6	90.9%				
評価視点		評価結果				理由・課題・問題点			
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)				施策の達成度	・ 子ども会については、少子化などの理由から会員数の維持は難しいが、町子ども会と地域子ども会とが連携し、事業の充実を図ることにより、参加者の確保が可能である。 ・ 放課後子ども教室については、登録者の増加に向けて、ホームページや広報誌における活動内容の周知に努めていくとともに、プログラムの充実を図るため、学校や地域との連携を更に深めていく必要がある。		
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)							
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)				B			
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)							

